

(様式1)

校 種	① ・ 中	学校番号	4 1	学校名	宇都宮市立城山東小学校
-----	-------	------	-----	-----	-------------

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

「人間尊重の精神」を基盤として、自らの向上とよりよい社会への発展に寄与するため、主体的に生きていくことができる、心身ともに健康でたくましい人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・心豊かで思いやりのある子（豊かな心）
- ・よく考え進んで学ぶ子（確かな学力と創造性）
- ・健康で明るい子（たくましく健やかな体）
- ・根気強くがんばる子（あふれる気力・実践力）

なかよく 元気で がんばる子

2 学校経営の理念

児童一人一人の能力を伸ばし未来をたくましく生き抜くための基礎となる力を培うために、保護者や地域との連携を図りながら、教職員が協働して、知・徳・体の調和のとれた教育を推進する。児童と教職員がふれ合う中で、よさを発揮し生き生きとして輝ける学校、つまり、児童にとって「行きたい学校」、保護者にとって「通わせたい学校」、教職員にとって「勤めたい学校」を目指す。

そのために、「目指す学校像」「目指す教職員像」を設定し、学校経営を推進する。

<目指す学校像>

- ・温かさと活気に満ちた学校
- ・安心・安全な学校
- ・地域とともにある学校

<目指す教職員像>

- ・人間性豊かで信頼される教職員
- ・児童とともにある教職員
- ・学び続ける教職員

スローガン
「ふれあい つながり
学び合う
城山東小学校」

3 学校経営の方針

- (1) 児童が持続可能な社会の担い手となるよう、教育活動のさらなる質の向上と教育効果の向上を目指す。
- (2) 「心豊かで思いやりのある子」を育成するため、自己肯定感を高める取組や、認め励ます教育を推進する。
- (3) 「よく考え進んで学ぶ子」を育成するため、学習意欲を高めつつ、知識・技能を確実に身に付け、思考力・判断力・表現力等を育む教育活動を推進する。
- (4) 「健康で明るい子」を育成するため、健康で安全な生活習慣を身に付ける指導と、体力・技能の向上を図る教育活動を推進する。
- (5) 「根気強くがんばる子」を育成するため、目標に向かって粘り強くがんばる活動や、自らの成長を振り返る活動を充実させる。
- (6) 教職員が倫理観と使命感をもち、資質・能力向上のために自己研鑽に努め、児童一人一人を大切にしたい教育活動を展開し、誰からも信頼を得られるように努める。
- (7) 職務の遂行に際しては、業務の効率化や職場環境の改善の取組を推進するとともに、教育の質の向上を目的とする働き方を心がける。
- (8) 魅力ある学校づくり地域協議会の組織等を活用し、地域とともにある学校づくりを推進する。
- (9) 城山地域学校園の連携による義務教育9年間を一体とした指導を推進する。

〔城山地域学校園教育ビジョン〕ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園
「自他を尊重し、郷土に愛着をもち、諸活動を通して互いに高め合う児童生徒」の育成
《スローガン》みんなで育てよう！ 自分を愛し、仲間を愛し、地域を愛する城山の子

4 教育課程編成の方針

- (1) 学習指導要領や第2次宇都宮市学校教委推進計画後期計画等を踏まえ、児童の実態や地域社会の実情に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、心身ともに健康で逞しい児童を育てることを目指し、特色ある教育の展開が図れるよう編成・改善に努める。
- (2) 基礎的・基本的な内容の定着と個に応じた学習指導の充実が図れるよう、教育内容の質的な充実を目指した学習指導が展開できるよう努める。
- (3) カリキュラム・マネジメントの視点に立ち、思考力・表現力と自己有用感を高めるために、各教科等の特質を生かすとともに、教科等横断的な視点で編成する。特に、人や社会と関わる力や表現力を育成するため、「大谷プラン」の充実を図る。
- (4) 教育活動に創意工夫を加えて、児童の主体的、実践的な活動を十分に生かせるように配慮するとともに、目標の重点化による教育活動の精選を行い、児童と向き合う時間や教材研究の時間を産み出し、教育の質の向上を図る。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営 **児童や教職員が生き生きと活躍できる、居がいのある学校づくり**
 - ・認め励ます教育や児童が主体的に行動できる教育活動の展開による、意欲や自信を育む居がいのある学校づくりの推進
 - 学力向上に向けた学びに向かう環境づくりと、粘り強く題に取り組む態度の育成
 - ・教職員の授業力や学級経営力等の資質・能力向上のための取組の推進
 - 保護者や地域協議会等の連携・協力体制の強化及び、地域人材や資源の活用による特色ある学校づくりの推進
 - ・同僚性や協働性をもった教職員集団による、業務の効率化やワークライフバランスを意識した働き方改革の推進
- (2) 学習指導 **確かな学力の育成**
 - 【自ら考えを表現し、共に学ぶ児童の育成】
 - ・「分かった」「できた」が実感でき、学ぶ楽しさが感じられる授業の工夫
 - 授業における、自らの考えを表現する（話す・書く）活動の充実
 - 基礎学力の向上を目指した、指導の充実（1人1台端末の効果的活用、特別支援教育の視点を取り入れた指導、読書活動の充実、朝の学習・家庭学習の習慣化等）
 - ・夢や目標をもち自己実現に向け努力する態度を育てるための、キャリア教育の推進（大谷プラン）
- (3) 児童生徒指導 **豊かな心の醸成**
 - 【人との関わりを大切にし、豊かな心を育てようとする子供の育成】
 - ・自己有用感を高めるための、主体的な活動の充実と認め励ます教育の推進によるたくましさの涵養
 - 互いを尊重し認め合い、居がいのある楽しい生活ができる学級づくりによる不登校の未然防止
 - ・きまりやマナーを守る態度の育成（「あいさつ 時間 あったかことば」）
 - ・人との関わりを大切にしたり、他者を思いやる豊かな心の育成
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全） **健やかな体の育成**
 - 【自他の生命を大切にし、進んで健康・体力の向上と安全な生活を心がける子供の育成】
 - 運動に親しむ態度や能力の育成
 - ・健康的な生活習慣を身に付けるための、保健指導を推進
 - ・望ましい食習慣の形成
 - ・自他の命を守る判断力と実践力を身に付けるための、安全教育の充実

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力

学校周辺の自然・文化や地域の人材等の資源を活用した活動を通して，郷土愛や感謝の心を育成する。また，人とのつながりの中で，自ら考え表現する力を育んだり達成感や充実感を味わわせたりすることで，自信と自己有用感を高める。

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①地域資源や様々な人材を活用した学びと心の教育

◇宇都宮学も含めた郷土や地域に関する教育と，文化・芸術の視点を加えて再編成した「大谷プラン」による郷土愛の醸成と創造力・表現力の育成

◇地域ボランティアによる読み聞かせや各教科の学習支援の充実による人材活用及び，感謝の会の実施

②基礎・基本の確実な習得，思考力・表現力を育成するための学習環境

◇朝の学習における基礎・基本の学習定着に向けた学習及び担任以外教員の活用

・朝の読書タイムと図書委員会とのタイアップ等の取組による読書活動の充実

・聴き方・話し方，考え方，話し合い方法等の学校統一のきまりの活用による，学習における思考力・表現力を高める活動の推進

③温かさと活気に満ちた学校生活

◇縦割り班活動による異学年交流の実施

・幼保との交流活動・小中連携・介護福祉施設訪問等の積極的な推進

・帰属意識や自己有用感，自己肯定感を醸成するための特別活動の充実

8 本市の重点施策・事業との関連

（1）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

地域協議会の学校運営参画を推進し，地域の資源・教育力を有効に活用した教育活動の充実に努める。

②主な取組

・地域協議会における学校経営ビジョンの共通理解と学校運営参画の推進

・保護者や地域人材による学習支援，地域の芸術家の指導による文化・芸術活動の充実

・地域の産業等を学ぶ校外学習（いちご農家，大谷石採掘場，大谷寺，大谷石資料館）

（2）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

「地域学校園教育ビジョン」を具現化するため，小中学校の教職員が相互理解を深め，学習指導・児童指導を実践する。

②主な取組

・教科部会・授業公開等における小中連携した取り組みに係る指導内容等の検討

・地域学校園合同あいさつ運動の実施

・小中交流活動の充実（冒険活動教室での交流，中学校文化祭の合唱鑑賞など）

（3）不登校対策

①基本的考え

誰もが安心して過ごせる学級・学校づくりと認め励ます教育の推進により，自己肯定感を育むとともに，不登校の未然防止・早期発見・組織での早期対応に努める。

②主な取組

- ・朝の会・帰りの会やふれあいコーナーの活用による児童相互の認め合い
- ・教職員による認め励ます教育の推進
- ・教育相談・学校生活アンケート・Ｑ－Ｕ等を活用した早期の対応
- ・定期的な児童に関する情報交換やケース会議組織的な対応と関係機関との連携
- ・欠席者への電話や家庭訪問の継続実施と節目の時期の面談

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

I C Tを効果的に活用し、情報活用能力・判断力・表現力・学習意欲等を育むため、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための授業作りを目指して取り組む。

②主な取組

- ・授業のねらいや内容に応じた1人1台端末の効果的な活用
- ・授業実践に向けた教職員の活用研修の実施
- ・プログラミング教育の充実
- ・デジタルシティズンシップ（情報モラル）教育の推進
- ・学習支援におけるI C T支援員の積極的な活用

(5) 宇都宮学

①基本的考え

児童が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにするために、本校の特色である「大谷プラン」と関連させて充実を図る。

②主な取組

- ・社会科と「宇都宮学」を関連付けた授業、「宇都宮学」副読本などを使用した探究的な学習等
- ・城山地区の校外学習・体験学習を核とした「大谷プラン」の充実

